

地方独立行政法人玉野医療センター
令和5年度の業務実績に関する評価結果

全体評価

令和6年8月
玉野市

項目別評価 評価の基準

(地方独立行政法人玉野医療センター業務実績評価に係る実施要領より)

[小項目評価基準]

- 「5」：年度計画を大幅に上回って実施している。
- 「4」：年度計画を上回って実施している。
- 「3」：年度計画どおりに実施している。
- 「2」：年度計画を下回っている。
- 「1」：年度計画を大幅に下回っている、又は実施できていない。

[大項目評価基準]

- 「S」：中期目標・中期計画の実現に向けて著しく進捗している。
(小項目評価の平均点が4.5以上)
- 「A」：中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が3.5以上4.5未満)
- 「B」：中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が2.5以上3.5未満)
- 「C」：中期目標・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5以上2.5未満)
- 「D」：中期目標・中期計画の実現から大幅に遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5未満)

地方独立行政法人玉野医療センター業務実績に関する評価結果

1. 全体評価

令和５年度の業務実績に関する評価結果は、
「中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。」と評価する。

2. 評価の判断理由

第２から第５までの全ての大項目で評価結果を「B」とし、中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗していると判断した。

大項目	評価
第２ 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B
第３ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	B
第４ 財務内容の改善に関する事項	B
第５ その他業務運営に関する重要事項	B

3. 評価にあたり考慮した事項

全体の評価にあたり考慮した事項、優れた事項や課題となった事項などは以下のとおりである。

- ① 新型コロナウイルス感染症が５類に移行したが、コロナ禍の影響は病院の運営面に影響を引き続き与えているため、目標値の達成や事業の実施にあたり一定の考慮をしたうえで評価を行っている。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応では市内で唯一の感染症確保病床を運営し、地域の中心的な役割を果たした。
- ③ 医師会との関係構築のため毎月の協議に参画するとともに、医療連携の具体的な取組みとして紹介率、逆紹介率の向上を企図して地域の医療機関に広報活動を実施している。
- ④ 新型コロナウイルス確保病床の補助金収入が制度改正により令和５年１０月からなくなったものの、救急医療受入の強化や地域の医療機関との患者の紹介・逆紹介を推進する取り組みに努めた結果、経常収支の黒字を確保した。
- ⑤ 市と連携して医師確保に取り組んだ結果、岡山大学地域卒卒業の内科医師１名が新たに派遣された。
- ⑥ 小児科医療については、寄付講座を開設することで岡山大学から小児科医師２名が新たに派遣され、外来の診療体制が充実した。
- ⑦ 医療安全対策については、医療安全員委員会を毎月開催し、レベル別の事例分析を安全対策に活用するとともに、厚労省主催の院内感染対策の研修修了者が感染対策で中心的な役割を担っている。

- ⑧ 一部の事務部門の職員において長時間の超過勤務が発生している問題については、法人設立時の令和3年度から指摘が続いており、監事指摘のとおりコンプライアンス違反が是正されていない状態となっている。
- ⑨ 2病院体制では業務に対して人員が不足することが原因となり、内部統制及び内部監査体制の未整備が課題となっている。

以上、大項目評価結果及び評価にあたり考慮した事項などを総合的に勘案し、令和5年度の業務実績に係る評価結果の全体評価は「**中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。**」とする。

4. 全体評価にあたっての意見、指摘等

- ① 全国的に医師・看護師などの医療従事者が不足する中であっても、病院事業の安定的な運営のために医療従事者の確保に努めてもらいたい。
- ② 新たな感染症が発生した場合にも、感染対策について地域で中心的な役割を果たしてもらいたい。
- ③ 救急搬送を積極的に受け入れて、入院患者数を増やしていることは評価できる。収益を確保して安定的な経営を継続してもらいたい。
- ④ 紹介、逆紹介などの地域の医療機関との連携を推進し、地域包括ケアシステムの実践を引き続き進めてもらいたい。
- ⑤ 岡山大学へ要望を続けて、小児科医師の確保に引き続き努めてもらいたい。
- ⑥ 事務部門における業務配分の見直しなどの対策をさらに進めて、時間外労働を早急に縮減するべきである。
- ⑦ 人員が不足している事情は考慮すべきことかもしれないが、内部統制及び内部監査体制が未整備であることは問題である。早急に整備すべきである。

2. 項目別評価

(1) 大項目評価

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目		評価
1 担うべき医療提供体制	(1) 救急医療	3
	(2) 小児・周産期医療	4
	(3) リハビリテーション医療	3
	(4) 検診・予防医療	3
	(5) 在宅医療	3
	(6) 災害医療	3
	(7) 新たな感染症への対応	4
2 医療の質の向上	(1) 地域医療への貢献	4
	(2) 相乗効果の発揮	3
	(3) チーム医療の実施	3
	(4) 医療従事者の確保及び育成	4
	(5) 調査・研究・治験への取り組み	3
3 患者サービスの向上	(1) 患者中心の医療の提供	3
	(2) 地域との交流	3
	(3) 医療安全対策	4
	(4) 積極的な情報発信	3
	(5) コンプライアンスの徹底	2
4 医療機関との連携		3
5 関係機関との連携	(1) 行政機関との連携	3
	(2) 医師会等との連携	3
	(3) 教育機関との連携	3
平均		3. 1

評価結果 B

判断理由

小項目21項目中20項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

- ① 救急医療については、救急受入件数が増加しており、課題はあるものの、救急受入体制の強化に取り組んでいる。

- ② 地域の医療機関との連携については、患者の紹介・逆紹介を推進することで、地域包括ケアシステムの実現に努めている。
- ③ 小児医療については、岡山大学から非常勤の小児科医師 2 名が新たに派遣されたことで、外来診療体制の充実に寄与した。
- ④ 医療従事者の確保・育成については、医師確保に取り組んだ結果、岡山大学地域卒の内科医師 1 名が新たに派遣された。
- ⑤ 新病院での統合を見据えて、2 病院での職種ごとの人事交流等を実施し、運営面での準備は計画通り進捗している。
- ⑥ 医療安全対策については、医療安全委員会を毎月開催し、レベル別の事例分析を安全対策に活用するとともに、厚労省主催の院内感染対策の研修修了者が感染対策で中心的な役割を担っている。

評価にあたっての意見、指摘等

- ① 軽微な症状で結果的に救急受け入れができなかった事例がみられるものの、引き続き救急受け入れを推進し、地域で完結する体制の実現に努めてもらいたい。
- ② 急性期病院の退院後の受け皿として回復期リハビリテーション病棟が機能して、早期の在宅復帰を支援している点は評価できる。
- ③ 玉野医療センターでは高齢な医師が増えているため、引退を見据えて後任の医師を確保する必要がある。医師確保のためのチャンネルを増やすことも検討してもらいたい。
- ④ 紹介、逆紹介などの地域の医療機関との連携を推進し、地域包括ケアシステムの実践を引き続き進めてもらいたい。
- ⑤ 岡山大学へ要望を続けて、小児科医師の確保に引き続き努めてもらいたい。
- ⑥ 玉野市と連携して、新病院での検診受診者数の増加に取り組み、市民の健康増進に貢献してもらいたい。
- ⑦ 医師会と玉野医療センターで感染対策の研修を合同で実施をしてもらいたい。
- ⑧ 新病院では、住民からも午後診療の実施を望む声が多いため、午後診療を実施してほしい。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目		評価
1 業務運営体制の構築	(1) 運営体制	3
	(2) 管理体制の強化	2
	(3) 外部評価等の活用	3
2 職場環境の整備	(1) 働きやすい職場環境の整備	2
	(2) 職員の職務能力の向上	3
	(3) 効果的な人事・給与制度の構築	3
平均		2.6

評価結果 B

判断理由

小項目6項目中2項目で2としたものの、その他は全て3の評価とし、平均2.6であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

- ① 法人運営の改善及び効率化に関する体制について、内部統制及び内部監査体制が未整備となっている。
- ② 内部統制及び内部監査体制が未整備となっている背景としては、2病院体制では業務に対して人員が不足しているものの、新病院への移行後は人員が集約されることから、無計画な採用は控えなければならない状況がある。

評価にあたっての意見、指摘等

- ① 人員が不足している事情は考慮すべきことかもしれないが、内部統制及び内部監査体制が未整備であることは問題である。早急に整備すべきである。
- ② 内部監査が実施できないのであれば、外部に監査を委託するなど他の方法での実施を検討すべきである。
- ③ ハラスメントの対策を実施して、働きやすい職場にすることで、医療従事者の確保に繋げてもらいたい。
- ④ 託児所を設置するなど、若い医療従事者が魅力を感じる職場環境を整備してもらいたい。
- ⑤ 患者のサービス向上に関する要望については真摯に検討をしてもらいたい。

第4 財務内容の改善に関する事項

小項目		評価
1	経営基盤の確立	3
2	収入の確保と経費の節減	(1) 収入の確保
		(2) 経費の節減
3	運営費負担金	3
平均		3.0

評価結果 B

判断理由

小項目4項目中全ての項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

- ① 令和5年度の経営状況としては、新型コロナ関連補助金が前年度比で半減したものの、日勤帯での救急患者受け入れ強化の取り組みや、紹介患者の確実な受け入れ、積極的な逆紹介の推進を地域の医療機関へ広報する取り組みなどにより、入院患者数の増加を図り、公的病院としての役割を遂行した結果、黒字を確保した。

評価にあたっての意見、指摘等

- ① 救急搬送を積極的に受け入れて、入院患者数を増やしていることは評価できる。収益を確保して安定的な経営を継続してもらいたい。
- ② 医療機関でも導入が進んでいる医療費のキャッシュレス決済は手数料負担が発生するものの、患者の利便性が向上することから、引き続き対応してもらいたい。

第5 その他業務運営に関する重要事項

小項目	評価
1 新病院の整備	3
2 新病院への移行	3
平均	3.0

評価結果 B

判断理由

小項目2項目中全ての項目を3の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

評価にあたり考慮した事項

- ① 令和5年度では、設計委託業者、施工業者等と定期的に協議を行い、必要な機能を損なうことなく費用の圧縮に努めながら、新病院の整備及び移行の準備については計画通り進捗している。

評価にあたっての意見、指摘等

- ① 新病院への引越作業を計画的に進めて、予定通りに開院をしてもらいたい。
- ② 新病院での運用は、患者が利用しやすく快適なものとなるようにしてもらいたい。